



HAKKO 926

SOLDERING STATION

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

この説明書をお読みにになり、正しくお使いください。お読みにになったあとは、後日お役に立ちますので、大切に保存してください。

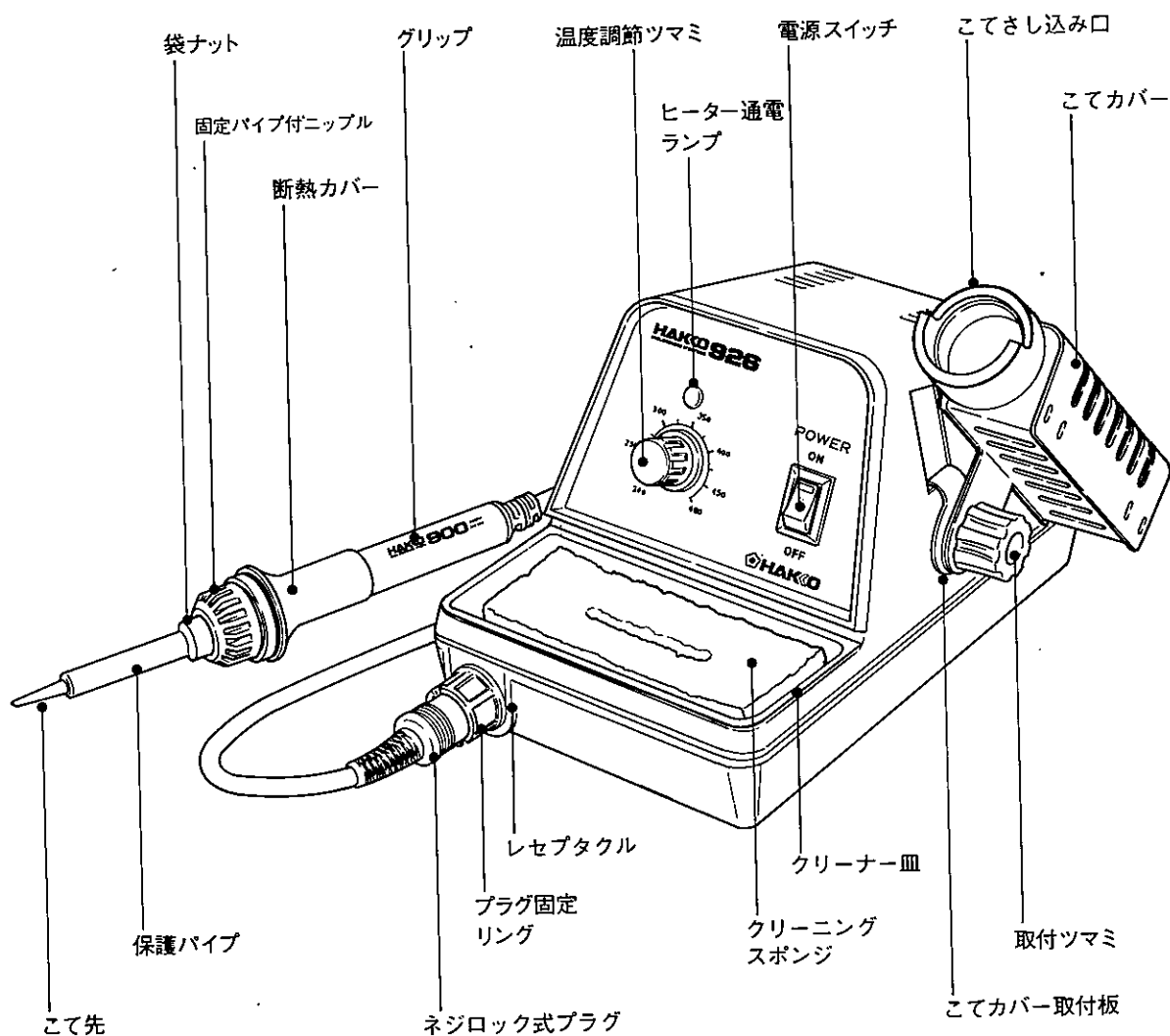
目 次

セット明細表	1
各部の名称	2
取り扱い上のご注意	3
ご使用方法	3
こて先について	4
トラブル発生時に	5
温度校正のしかた	6
アースラインの点検	6
ヒーター(センサー)交換のしかた	7
仕 様	8

① セット明細表

セット品番	セット品名／仕 様	品 番	品 名／仕 様
926 MA	ハッコー926 Mセット クリップアース線付	926-2A	ハッコー926用ステーション クリップアース線付
		900M	ハッコー900 M型こて
926 ME	ハッコー926 Mセット 二極接地型プラグ付	926-2E	ハッコー926用ステーション 二極接地型プラグ付
		900M	ハッコー900 M型こて
926 LA	ハッコー926 Lセット クリップアース線付	926-2A	ハッコー926用ステーション クリップアース線付
		900L	ハッコー900 L型こて
926 LE	ハッコー926 Lセット 二極接地型プラグ付	926-2E	ハッコー926用ステーション 二極接地型プラグ付
		900L	ハッコー900 L型こて

各部の名称



付属品

ハッコー926用こてホルダー
 (こてさし込み口、こてカバー、こてカバー取付板、取付ツマミ)
 クリーナー皿
 クリーニングスポンジ
 クリップアース線 (926MA・926LAセットのみ)

取り扱い上のご注意

- はんだこてに過度の衝撃は禁物です。

ヒーターにセラミックを用いていますので、はんだかすを取るためにこてを作業台にたたきつけたり、急冷したりしないでください。

- はんだこての袋ナットはしっかりとしめておいてください。

袋ナットをゆるんだまま使うと、ヒーターが折れたり断線したりすることがあります。

- こて先はハッコー900専用の純正部品をお使いください。

他のこて先のご使用は故障の原因となります。(※ハッコーダッシュのこて先は使用できません。)

- こて先温度は低めでお使いください。

こて先の温度復帰力が優れているため低めの温度で十分に対処できヒートダメージに弱い部品を守ることができます。

- こて先交換のときは電源を切っておいてください。

電源を入れたまま交換を行うと、ヒーターの異常過熱やこて先を傷める原因になります。

- こて先のヤスリがけや機械加工は禁物です。

こて先寿命をのばすために、特殊鉄メッキしていますので、はがさないようにしてください。

ご使用方法

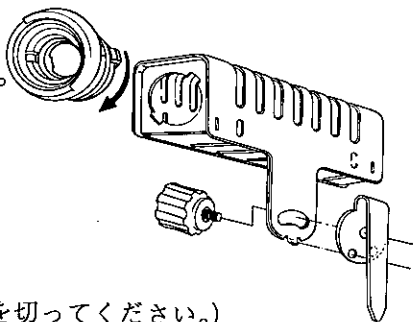
- こてホルダーのとりつけ方

こてホルダー本体を取付ツマミでこてカバー取付板に固定します。こて台の角度は取付ツマミで簡単に調節できます。

※ステーション左側面への取り付けも可能です。

- ① こて差し込み口を左回しにとりはずし、
こてカバーの反対側につけかえます。

- ② こてカバー取付板をステーションに
しっかりと差し込んでください。



- つなぎかた (プラグを抜き差しするときは必ず電源を切ってください。)

ステーションのレセプタクルにはんだこてのネジロック式プラグを差し込み、プラグ固定リングを右方向に回してロックします。

- 希望の温度にセットし電源スイッチを入れてください。設定温度に達すると、ヒーター通電ランプが点滅状態(ON-OFF)に変わります。点滅状態になりましたら半田付作業を開始してください。

- クリーニングスポンジの使いかた

必ず水でぬらし、かためにしぼってからお使いください。乾いたクリーニングスポンジでぬぐうとこて先が使用できなくなることがあります。

こて先について

■こて先の種類

■900Mこて専用

900M-T-1.6D		0 (480°C)
900M-T-2.4D		0 (480°C)
900M-T-3.2D		0 (480°C)
900M-T-B		0 (480°C)
900M-T-LB		-10°C (470°C)
900M-T-1C		0 (480°C)
900M-T-2C		0 (480°C)
900M-T-3C		0 (480°C)
900M-T-4C		0 (480°C)
900M-T-K		+30°C (510°C)
900M-T-I		-10°C (470°C)
900M-T-H		-20°C (460°C)

※900Mこて先外径6.5φ

■900Lこて専用

●より強力なはんだ付けが必要な時には、こて先ポリウムがひと回り大きなこて900Lをお使い下さい。

900L-T-B		0 (480°C)
900L-T-2B		0 (480°C)
900L-T-3.2D		0 (480°C)
900L-T-2C		-20°C (460°C)
900L-T-3C		0 (480°C)
900L-T-4C		0 (480°C)
900L-T-I		-20°C (460°C)
900L-T-K		+20°C (500°C)

※900Lこて先外径8.5φ

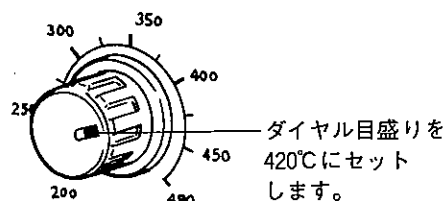
○ご注意

- こて先は消耗部品ですので、はんだ付けがしにくくなったら交換してください。なお、こて先は必ず900専用のものをお使いください。
- こて先の古いはんだをクリーニングスポンジでぬぐってから作業してください。
- 連続でご使用になる場合は、週に一度はこて先をはずして、内部の酸化物を取り除いてください。こて先の焼付や温度低下を防ぐことができます。
- 作業終了後、こて先をきれいにぬぐい新しいはんだを送って、はんだメッキを形成させておいてください。こて先の酸化を防ぎます。
- より強力なはんだ付けが必要な場合には、こて先熱容量の大きい900L型こてをご使用ください。

■こて先の種類による温度調整のしかた

こて先の種類によってその長さや重量が異なるため、標準のこて先との温度差がでます。左記の「標準こて先との温度差」にしたがって調整してください。

(例) 900M-T-Hのこて先で400°Cの温度を出す場合。(標準こて先との温度差-20°C)



トラブル発生時に

調子が悪いときや異常が認められるときは、次のところをお調べください。部品の交換や簡単な修理で直ることがあります。

電源が入っているのに、こて先が熱くならない。または、オーバーヒートする。	
状 況	電源ランプがつかない。
調べる ところ	1. ヒューズが切れていませんか？(AC 125V 2A ヒューズ) 2. 電源コードが、断線していませんか？
状 況	ヒューズが切れている。
調べる ところ	1. こて部の中でショートしていませんか？ 2. アーススプリングがヒーターにあたっていないか？ 3. ヒーターリード線がねじれ短絡していませんか？
状 況	電源ランプはついているが、ヒーター通電ランプが点灯しない。
調べる ところ	1. プラグがきっちりとセットされていますか？ 2. ヒーターは切れていませんか？
状 況	電源ランプ、ヒーター通電ランプはついている。
調べる ところ	1. ヒーターは切れていませんか？ 2. 接続コードが断線していませんか？

こて先が熱くなったり、ならなかったりする。

調べる ところ	1. コード断線をおこしかけていませんか？ 2. ヒーター交換の際こて部のリード線はきちんとはんだ付けされていますか？
------------	--

こて先にはんだがのらない。

調べる ところ	1. こて先の設定温度が、高すぎいませんか？ 2. こて先に酸化被膜やよごれがついていませんか？
------------	---

希望の設定温度が出ない。

調べる ところ	CAL 調整はあっていますか？
------------	-----------------

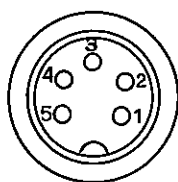
こて先がはずれない。

調べる ところ	1. こて先がヒーターに焼きついていませんか？ 2. こて先劣化によって、こて先が膨張していませんか？
------------	--

以上の点検でも具合の悪いときは、お買い上げ店にご連絡ください。

※尚、本品には万全を期しておりますが、万一故障(特に温度コントロールの不調)等が発生した場合は、誠にお手数ですがこて部とステーション部の両方を代理店・販売店まで送り返していただきますようお願い申し上げます。

■ヒーター切れ・接続コード断線の調べかた



プラグピンNo.

a	ピン4—5間(ヒーター)	2.5~3.5Ω(常温時)
b	ピン1—2間(センサー)	43~58Ω(常温時)
c	ピン3—こて先間(アース)	10Ω以下

ネジロック式プラグをはずし、こて部のピン間の抵抗を測定してください。

a.b.の値が上記の値と異なるときは、ヒーター(センサー)か接続コードが断線またはショートしています。P 7、3.を参考にされ、部品を交換してください。

■はんだがのらないとき

- こて先温度がダイヤル目盛りより高すぎる。
ステーション底面のCALを調整し、温度を再設定してください。
 - こて先に酸化被膜やよごれがついている。
 - こて先をクリーニングスポンジで十分にぬぐいます。
 - こて先温度を250℃にセットし、こて先をスチールウールで軽くこすり、酸化被膜やよごれを取り除いてください。
※やすりがけや強くこすることは禁物です。
 - 新しいはんだをこて先に送ります。
- こて先にはんだがなじむまで2~3を繰り返してください。

温度校正のしかた

次のようなときは、こて先温度を再度校正してください。

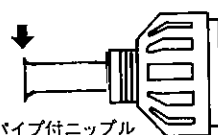
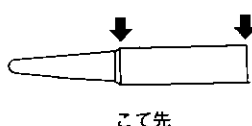
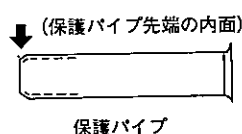
- はんだこてを変えたとき
 - ヒーター交換のとき
 - こて先を変えたとき
- はんだこてのネジロック式プラグをステーションのレセプタクルにロックします。
 - 400℃にセットします。
 - 電源スイッチを入れ、ヒーター通電ランプが点滅状態になるのを待ちます。
 - ステーション底面のCAL表示のある穴(ポテンショメーター)をマイナスドライバーを使って、こて先温度が400℃になるようにこて先温度計で合わせてください。
こて先温度は右に回せば高くなり、左に回せば低くなります。

アースラインの点検(定期的に行ってください。)

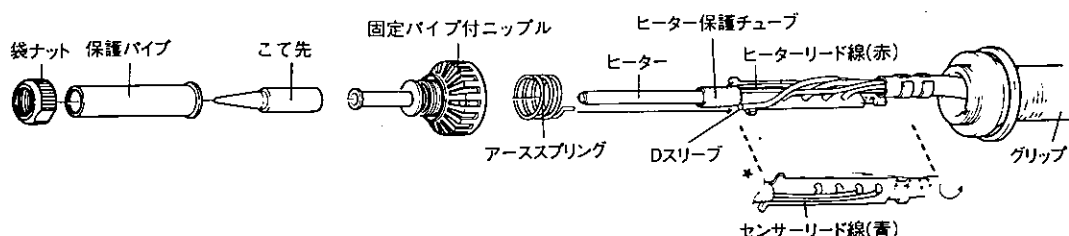
ピン3—こて先間 10Ω以下が正常な状態です。

アース抵抗値が10Ω以上のとき

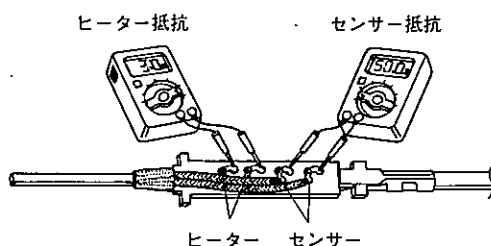
- ➡印のところを目の細かいサンドペーパーかスチールウールで軽くこすり、酸化被膜をとりのぞきます。



ヒーター(センサー)交換のしかた



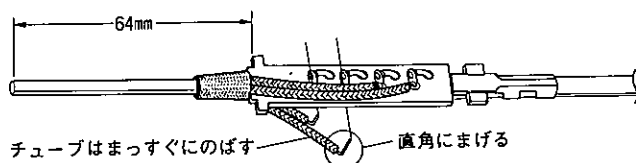
1. 袋ナット、保護パイプ、こて先、固定パイプ付ニップルの順に取りはずします。
2. ヒーターを抜きとり、アーススプリングをDスリーブより抜きます。
3. ヒーター及びセンサーのターミナルでの抵抗値を測定してください。



ヒーター抵抗値	2.5~3.5Ω
センサー抵抗値	43~58Ω

ヒーターが常温時に測定してください。

- 抵抗値が異常な場合は、ヒーターを交換してください。
 - 抵抗値が正常な場合は、コードの断線が考えられます。
4. ヒーターリード線とセンサーリード線のはんだを吸取器等で取りはずします。
 5. 新しいヒーターのヒーターリード線(赤-赤)とセンサーリード線(青-青)をターミナルにセットします。同色どうしに極性はありません。
 - ヒーターの長さ(64mm)はヒーター保護チューブの位置で調整してください。



6. リード線をはんだ付けします。ターミナルの両面から、はんだが見えるようにはんだを吸いこませてください。
7. リード線をカットします。
8. アーススプリングをヒーターに通し、ターミナルのヒーターリード(赤)側でDスリーブに差し込みます。
- この時、ヒーター保護チューブがヒーター端子部を覆っていることを確認してください。
9. ターミナルをグリップにもどします。グリップについている回転防止みぞにそって挿入します。
10. 固定パイプ付ニップル、こて先、保護パイプの順に取り付け、最後に袋ナットを締めて完了です。

ステーション部

品名	ハッコー926用ステーション クリップアース線付	ハッコー926用ステーション 二極接地型プラグ付
品番	926-2A	926-2E
消費電力	AC100V ±10% 60W	
出力電圧	AC24V	
制御温度	200～480℃	
温度精度	ダイヤル設定温度に対して±10℃ 無負荷時リップル温度±1℃	
電源コード	ゴムコード(1.5m)	
外形寸法	125(W)×120(H)×200(D) 除コード こて台	
重量	約1,500g	
ケース	難燃性プラスチック 94V-0タイプ UL規格品	

こて部

品名	ハッコー900 M型こて	ハッコー900 L型こて
品番	900M	900L
消費電力	AC24V 50W	
絶縁抵抗	300MΩ—400℃ (50MΩ—480℃)	
モレ電圧	0.6mV以下	
ヒーター	セラミックヒーター	
センサー	ヒーター埋込型タングステンセンサー	
コード	5芯シリコン耐熱コード(1.2m)	
プラグ	5ピンネジロック式	
全長	190mm(除コード)	210mm(除コード)
重量	45g(除コード)	55g(除コード)
グリップ	耐熱プラスチック	

測定条件

●こて先温度

温度表示は HAKKO 191 を使用し測定した温度です。

(ご注意) こて先温度計での測定においてセンサー部が劣化した場合、10～40℃低く表示されます。

●絶縁抵抗

DC500V絶縁抵抗計にてこて先とヒーターリード部で測定します。

(ご注意) 二次側(ヒーター部)は一次側とトランスにより絶縁されているのでこて先と電源プラグ間では測定できません。

*仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

交換部品

品 番	品 名 / 仕 様
900M-H	900M用ヒーター、セラミック、24V 50W
900M-006	900M用袋ナット
900M-002	900M用保護パイプ
900M-044	900M用固定パイプ付ニップル
900M-036	900M用アーススプリング
900L-H	900L用ヒーター、セラミック、24V 50W
900L-006	900L用袋ナット
900L-002	900L用保護パイプ
900L-044	900L用固定パイプ付ニップル
900L-036	900L用アーススプリング
900-039	プラグ付接続コード
926-029	クリーニングスポンジ
926-022	こてホルダー
609-041	こて差し込み口



白光株式会社

大 阪／〒556 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号
TEL: 大阪営業課・技術課 (06) 561-1574 (代)
海外営業課 (06) 561-3225 (代) FAX: (06) 568-0821

東 京／〒101 東京都千代田区神田佐久間河岸85号地
TEL: (03) 866-1161 (代) FAX: (03) 866-1164

仙 台／〒983 宮城県仙台市宮城野区銀杏町34番25号
TEL: (022) 231-6799 (代) FAX: (022) 231-6971

堺工場／〒592 大阪府堺市浜寺石津町東1丁目1番23号
TEL: (0722) 47-1574 (代)